



須賀川市は「俳句ユネスコ無形文化遺産
登録推進協議会」に加入しています。

牡丹焚火

須賀川の初冬を彩る風物詩

令和7年

11/15

(土)

午後4時30分

須賀川牡丹園



須賀川市公式
ホームページ

主催：須賀川市・桔槔吟社・（公財）須賀川牡丹園保勝会

後援：須賀川市観光物産振興協会・俳句ユネスコ 協力：須賀川市茶道連合会

牡丹焚火講演会

◆聴講無料
◆事前申込要

とき 午後2時 受付開始：午後1時30分

ところ 牡丹会館 多目的ホール

ほったきか

講師 堀田季何先生

演題「季語とは何か」

聴講をご希望の方は、事前申し込みが必要となります。

令和7年10月17日(金)～(定員60名)※先着順
須賀川市風流のはじめ館へお電話ください。

事前申込

牡丹焚火

◆参加無料
◆事前申込不要

とき 火入れ式 午後4時30分

ところ 中央広場 大ケヤキ前

天寿を全うした牡丹の古木や折れた木を
供養する行事です。

牡丹の古木や枯れ枝をお持ちの方は、是非
ご持参ください。

その他 午後4時から牡丹焚火会場にて「苔ぼつくり」を
プレゼントします。(先着50名様)

桔槔吟社 牡丹焚火俳句大会

「牡丹焚火」またはその傍題を季語とした俳
句を投句ください。投句者には作品集を送
付、優秀作品には賞品を贈呈します。

2句1組1,000円 (投句数の制限なし)
※投句料と引き換えに投句用紙をお配りします。

当日投句：午後6時10分まで
郵送投句：11月18日(火)まで(当日消印有効)

詳しくは、須賀川市文化振興課または市公式HPへ。

投句料
投句締切
その他

須賀川茶道連合会 呈茶サービス

料金は頂きません。
温かいお茶とお菓子をどうぞお召し上
がりください。

とき 午後1時00分～午後4時00分(予定)
※お菓子が無くなり次第終了となります。

ところ 牡丹会館 売店前

熾となる牡丹焚火へ皆寄り来

横浜 花瀬 玲

牡丹供養熟き火の粉を散華とし

須賀川 石山たま江

牡丹櫓足して祈りの火を繋ぐ

大崎 佐野 亨保

牡丹櫓足して祈りの火を繋ぐ

須賀川 佐藤 健則

令和六年度牡丹焚火俳句大会 入選句



牡丹焚火は、毎年十一月第三土曜日の薄
暮から宵にかけて国指定名勝「須賀川の牡
丹園」で行われます。大正時代に、園主柳
沼源太郎が古木を供養するためにひっそり
と焚いていたことが始まりです。
昭和五十三年には、「牡丹焚火」が冬の
季語として俳句歳時記に収載され、多くの
俳句に詠まれていました。
本市では、「牡丹焚火」の他「松明あかし」
も冬の季語となっており、いずれも須賀川の初
冬の風物詩として、親しまれています。

<お問い合わせ先> 須賀川市文化振興課(0248-88-9172)

須賀川市風流のはじめ館(0248-72-1212)



桔槔吟社HP



須賀川牡丹園HP